



令和4年7月19日 第4号

安方中だより

大田区立安方中学校

宿題について

校長 佐藤 彰

1学期も終わりを迎え、夏休みを目前にしています。この時期は、楽しみを待つ時のワクワク感があり、何とも言えない開放感があるのではないのでしょうか。3年生は、「そんな呑気なことは言っていられない！！」と思っているかもしれませんが・・・。

夏休みといえば、宿題がついてきます。夏休みの宿題への取り組みは、①毎日計画的にやる、②休みが始まったらすぐに終わらせる、③休みの最後にまとめてやるという3つのパターンに分類されるのではないのでしょうか。休みの前は①か②でやろうとしていたけど、結局は③になってしまったという経験がある人もいます。「宿題はまとめてやる派 泣きながら」という笑えない句もあります。

私の家では、8月31日に子供が大騒ぎをするのが毎年の恒例でした。この日の夜になって「配られた原稿用紙がない」と言い出して、100均のお店に買いに行ったこともあります。2年ほど前には、「夏目漱石の三四郎、それから、門のどれでもいいからあらすじと感想を教えて」と言い出しました。読書感想文を1文字も書いていないどころか、本を1文字も読んでいなかったようです。あきれて、放っておきましたが・・・。

日本の小中学生が取り組んでいる宿題とは、いつごろ始まったのでしょうか。日本では1872年（明治5年）に学制が定められて、全国各地に小学校ができました。それから9年後の1881年（明治14年）に夏季休業日が定められました。日本の学校制度は欧米にならって整えられましたが、夏休みもそうなのです。

しかし、欧米の多くの国は、夏休み明けの9月に新学年が始まります。7月までに学年の学習内容をすべて終えたあとに夏休みに入るわけですが、ところが、日本は4月に新学年が始まり7月には夏休みに入ります。学習が軌道に乗りにかけた時に長い休みに入ることになり、理解したことを忘れてしまうという心配が生まれました。その対策として、夏休みには宿題を出して学力を維持しようとしたと言われています。

夏休みの宿題といえば、自由研究に励んだ人も多いと思います。数年前に愛知県の中2年生のM君が取り組んだ「走れメロス」に関する研究が面白いと話題になりました。

「走れメロス」は、太宰治が著した名作で、中2年生の国語の教科書にも載っています。妹の結婚式の準備のためにシクラスという町を訪れたメロスは、ここの王が人々を虐殺しているのを知って憤り、王を倒すために城に侵入します。しかし、捕らえられてしまい王により殺されそうになります。メロスは、「妹の結婚式が済んだら必ず戻るので、3日間の猶予がほしい」と訴え、親友のセリヌンティウスを身代わりとして差し出すと約束します。王は、3日間のうちに帰らなかったらセリヌンティウスを殺すことを条件にメロスの訴えを認めました。人を信用できない王は、どうせ帰っては来ないと思ったのです。この後、様々な困難や誘惑に打ち勝ったメロスは、シクラスと故郷の村を往復して走り切り、約束どおりに戻ってきて、王は自分のあやまちを認め改心したという内容です。

M君は、メロスがどれぐらいのスピードで走ったのかを小説中の言葉や表現から解き明かそうとしました。

まずは往路ですが、シクラスと故郷の村との距離は「10里」、すなわち39kmです。

メロスがシクラスを出発したのは、「初夏、満天の星」という描写から夜中の 0 時と推定します。村への到着は、「日はすでに高く、村人たちは野に出て仕事を始めていた」という表現から、午前 10 時と推定しました。つまり、39km の距離を 10 時間かけて移動したわけなので、速度は時速 3.9km と導きだしました ($39 \div 10 = 3.9\text{km/h}$)。人の平均歩行速度がおよそ時速 4km だから、「なんだ、メロスは普通に歩いているじゃないか」と驚きました。

次に復路です。メロスは「薄明（はくめい・日の出前）のころ」に目覚めます。M 君は、物語の舞台はイタリアのシチリア南部に位置し、北緯 40 度にあることを突き止めました。これは、日本の仙台とほぼ同じ緯度なので、仙台の初夏の日の出時刻と同じ、午前 4 時ごろに目が覚めたと推定します。「悠々と身支度」をして出発し、日没ギリギリにたどり着いたという記述から、出発を 4 時 30 分、到着は仙台の日没から午後 7 時と推定しました。復路は、14 時間 30 分かかったことになり、メロスは時速 2.7km で戻ってきたと結論づけました。

途中、激流の川渡りや山賊との戦いはありましたが、「死力を振り絞って」走ったとされるラストも時速 5.3km と早歩きぐらいのスピードだったと推定します。

M 君の考察は、『今回調べてみて、メロスは全く全力で走っていないことがわかりました。「走れメロス」というタイトルは、「走れよメロス」の方が合っているなと思いました』。

中学生の発想の豊かさやユニークさには、いつも驚かされ感動させられます。
皆さん、よい夏休みを。

3年生に向けて

3年生は、受験生の夏を迎えることになります。「夏を制する者は受験を制する」とは昔から言われていますが、健康には気を付けて自分と向き合い頑張ってください。

ある高校の 3 年生の廊下に貼ってある受験生に向けたメッセージを教えてもらったので、一部を紹介します。

「集中するのは疲れるが、SNS のように夢中になれるものは疲れな。夢中になって勉強しなさい」 「現在の自分をみて将来を変えるのではなく、将来をみて現在の自分を変えなさい」 「凡人は努力！できる生徒がやるのではない。やった生徒ができるようになる！」 「勉強していない人間にスランプはない。ただの努力不足！」

「終わった。どちらの意味の終わったにせよ、今日必ず解き直せ！これが模試を受ける真の意味である」 「体力と気力には限界がくる。しかし、知力に限界はない」

「疲れたと言って勉強しない人間に明日はない」 「“疲労”と書いて“充実”と読め」
どれかひとつでも心に響くものがあれば嬉しいです。一生忘れない夏休みを。

「表彰」おめでとう！！

【剣道部女子】 ○令和 4 年度第 1 ブロック夏季剣道大会
女子団体 第 3 位
※女子団体は都大会出場
※鎌田俐緒、高津あかりが個人戦で
都大会出場



【野球部】 ○令和 4 年度大田区中学校野球
選手権大会 第 3 位



お知らせ

本校の学校ホームページに、「安方中学校ダイアリー」という項目を設け、毎日更新しています。日々の生徒の様子や先生方の取り組み、校舎内の様子などをアップしています。学校に気軽に来ることができない今般、少しでも学校の様子がお伝えできればと考え取り組んでいます。夏休みもできるだけ更新する予定ですので、ぜひご覧ください。